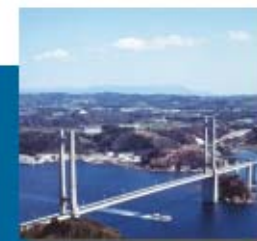




Globality Engineering Maker



－ 第27期 －

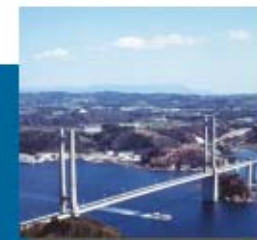
2008年 6月 2日

決算説明会

株式会社 エスイー



Globality Engineering Maker



平成20年3月期 財務諸表

平成20年3月期 損益計算書(連結)

Globality Engineering Maker 

(単位: 百万円)

%

科目	平成19.3期	平成20.3期	増減額	増減率
I. 売上高	10,380	11,177	797	7.7
II. 売上原価	7,387	7,932	545	7.4
売上総利益	2,992	3,244	252	8.4
(売上総利益率)	(28.8%)	(29.0%)	(0.2)	—
III. 販売運賃・販売手数料	379	436	56	14.9
IV. その他販売・管理原価	2,124	2,260	136	6.4
営業利益	488	547	59	12.1
V. 営業外収益	103	132	29	28.5
VI. 営業外費用	36	45	8	24.6
経常利益	555	635	79	14.4
VII. 特別利益	1	3	1	118.2
VIII. 特別損失	11	16	4	39.4
税金等調整前当期純利益	545	622	77	14.1
法人税・住民税・事業税他	276	237	△39	△14.1
当期純利益	269	385	116	43.2

分野別売上高・粗利益(連結)

Globality Engineering Maker 

区 分		平成19.3期		平成20.3期		
		百万円	構成比	百万円	構成比	増減率
環境・防災 事業	売 上	7,988	77.0%	8,342	74.6%	4.4%
	粗 利 益	2,560		2,613		2.1%
	利 益 率	(32.1%)		(31.3%)		(△0.8)
橋梁構造 事業	売 上	2,138	20.6%	2,582	23.1%	20.8%
	粗 利 益	392		572		46.1%
	利 益 率	(18.3%)		(22.2%)		(3.9)
バイオマス その他	売 上	252	2.4%	251	2.3%	△0.3%
	粗 利 益	39		58		46.2%
	利 益 率	(15.8%)		(23.2%)		(7.4)
合 計	売 上	10,380	100.0%	11,177	100.0%	7.7%
	粗 利 益	2,992		3,244		8.4%
	利 益 率	(28.8%)		(29.0%)		(0.2)

平成20年3月期 貸借対照表(連結) Globality Engineering Maker

(単位:百万円)

	H19.3期	H20.3期	増減額		H19.3期	H20.3期	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
現預金	1,358	839	△519	営業債務	4,025	4,410	384
営業債権	6,039	6,567	527	一年内長期借入金・償還社債	674	658	△16
棚卸資産	959	1,094	135	その他	505	512	6
その他	310	272	△38	流動負債 計	5,205	5,580	375
流動資産 計	8,668	8,774	105	社債及び長期借入金	1,020	1,085	64
有形固定資産	3,009	3,444	434	退職給付引当金	354	342	△11
無形固定資産	50	53	3	その他	362	372	9
投資その他の資産	966	1,039	72	固定負債 計	1,737	1,799	62
固定資産 計	4,026	4,537	510	負債 合計	6,942	7,380	437
				(純資産の部)			
				資本金その他	5,879	6,111	231
				自己株式	△245	△245	△0
				その他有価証券評価差額金	55	25	△29
				為替換算調整勘定	60	35	△25
				少数株主持分	1	4	2
				純資産 合計	5,751	5,930	178
資産合計	12,694	13,311	616	負債・純資産合計	12,694	13,311	616

キャッシュフロー計算書(連結) Globality Engineering Maker

(単位:百万円)

科目	平成19.3期	平成20.3期	増減額
I. 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前当期純利益	545	622	77
減価償却費	183	210	26
法人税等の支払額	△115	△264	△149
その他	△449	△430	19
計	164	137	△26
II. 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出	△146	△499	△352
投資有価証券の満期償還による収入	200	—	△200
その他	△42	△52	△9
計	10	△551	△562
III. 財務活動によるキャッシュフロー			
長期借入による収入	600	850	250
長期借入金の返済による支出	△540	△618	△77
その他	△314	△338	△23
計	△255	△106	149
IV. 現金及び現金同等物 増減額	△80	△519	△439
V. 現金及び現金同等物 期首残高	1,354	1,273	△80
VI. 現金及び現金同等物 期末残高	1,273	754	△519



Globality Engineering Maker



平成21年3月期 計画

平成21年3月期 損益計算書(連結) Globality Engineering Maker

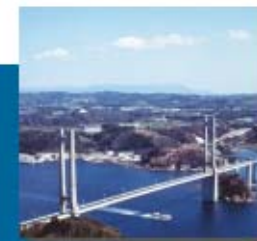
単位:百万円

%

科目	平成20.3期 実績	平成21.3期 計画	増減額	増減率
I. 売上高	11,177	11,910	732	6.6
II. 売上原価	7,932	8,454	521	6.6
売上総利益	3,244	3,456	211	6.5
(売上総利益率)	(29.0%)	(29.0%)	(△0.0)	—
III. 販売運賃・販売手数料	436	463	26	6.1
IV. その他販売・管理原価	2,260	2,378	117	5.2
営業利益	547	614	66	12.2
経常利益	635	708	72	11.5
当期純利益	385	437	52	13.6



Globality Engineering Maker



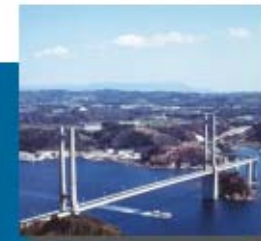
SECグループの中期経営戦略

～ 150億円企業を目指して ～

SE CORPORATION



Globality Engineering Maker



SECグループを取巻く環境

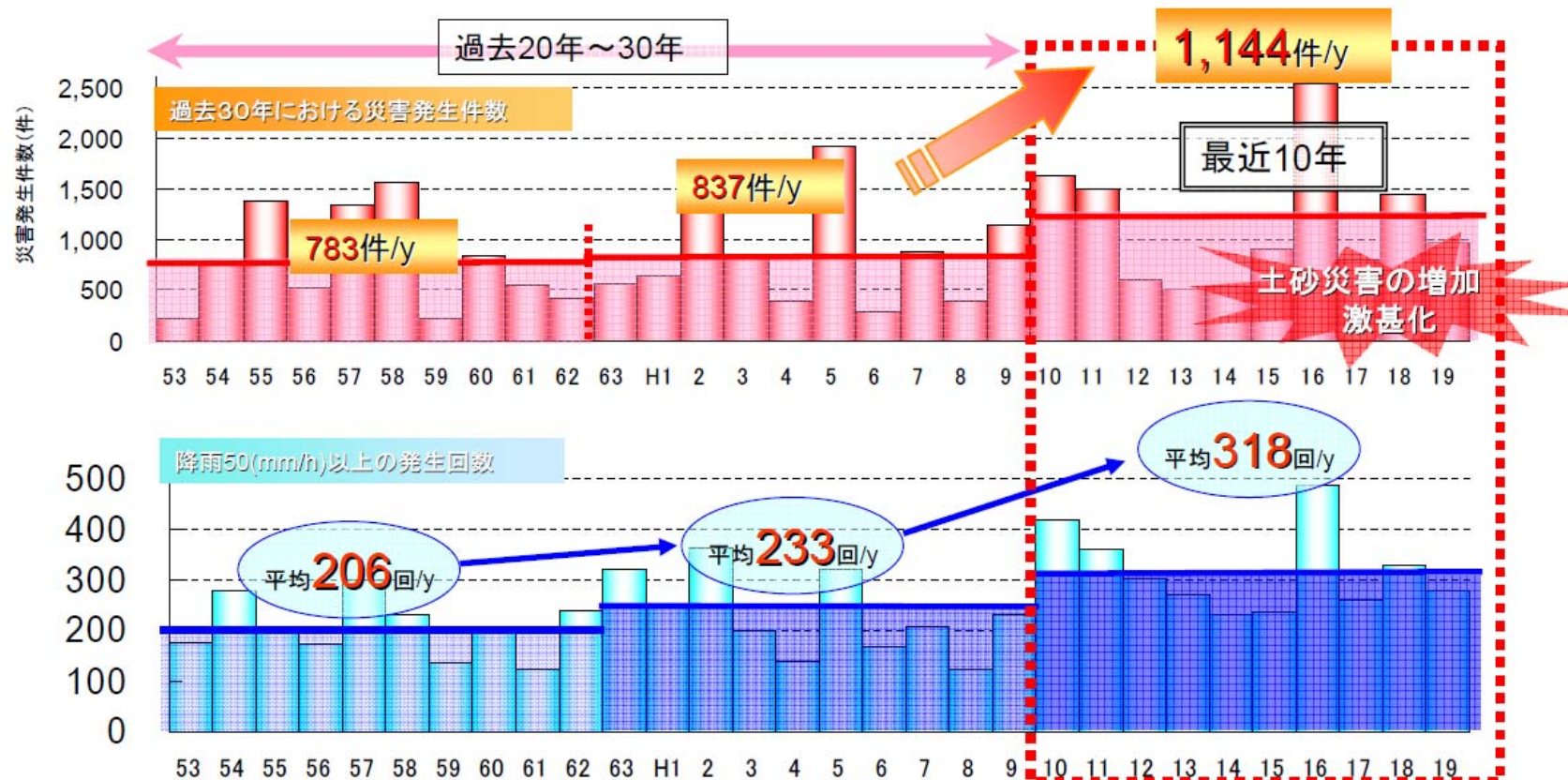
- ◆ 地球温暖化に伴う土砂災害の状況
- ◆ 老朽化の進む国内インフラの状況
- ◆ インフラ開発が進むアジアの状況
- ◆ エスイーのビジネスチャンス

地球温暖化に伴う気候変動による土砂災害の増加、激化が 懸念



集中豪雨と土砂災害発生件数の推移

30年前と比較すると、災害数及び集中豪雨の平均回数は確実に増えており、これに合わせた災害緊急箇所の整備が急務と見られる。



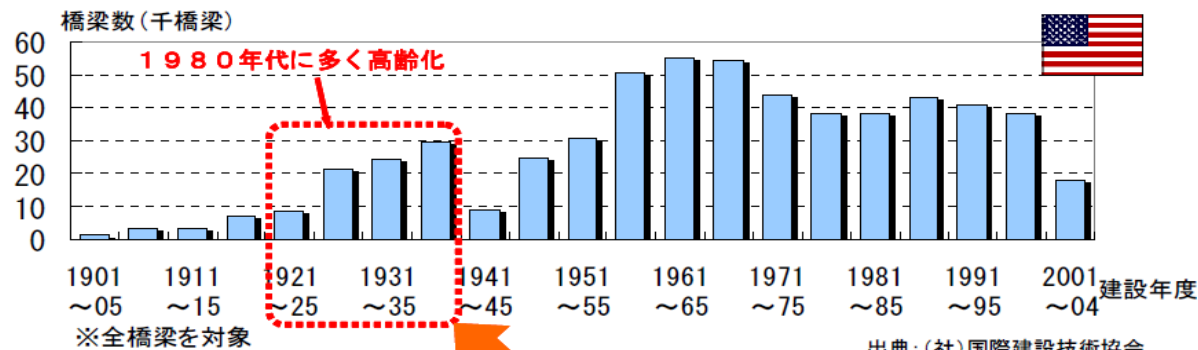
過去30年間の災害発生件数の平均は921件/年※。気候変動の激化に伴い、土砂災害も増加・激甚化の傾向。今後もIPCC報告の通り、温暖化が進行すれば、土砂災害が増加・激甚化することが予想。

IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change):気候変動に関する政府間パネル

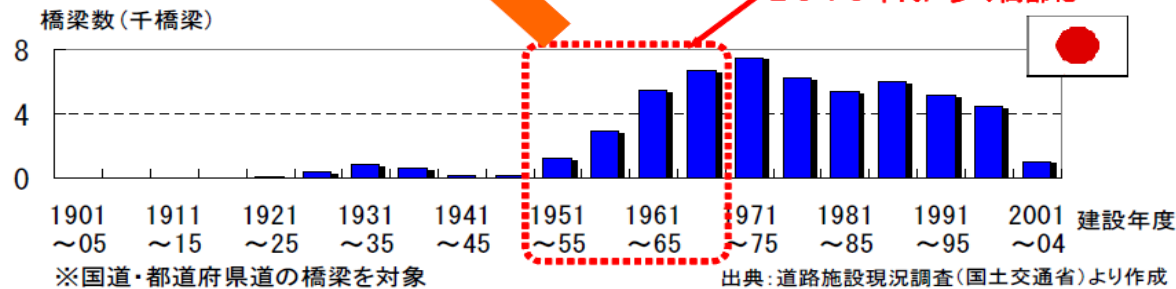
橋梁維持管理の必要性

米国の道路施設は、わが国より30年早く高齢化し、維持管理に予算が十分投入されなかったため、1980年代には「荒廃するアメリカ」と呼ばれるほど劣悪な状態にあった。日本の橋梁は、2010年代に多く高齢化する事がわかっており、この高齢化に向けた計画的維持管理が必須となってくる。

【米国の橋梁の建設年】



【日本の橋梁の建設年】

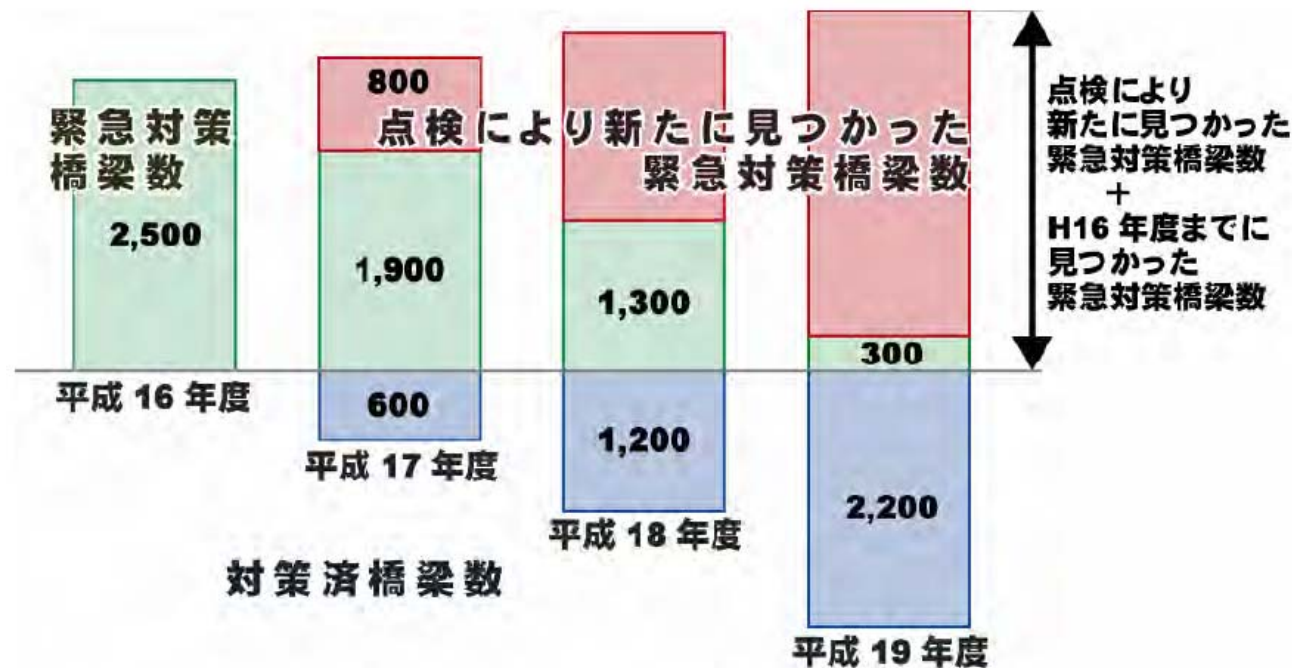


平成19年8月2日、米国中西部ミネソタ州ミネアポリス市において、ミシシッピ川にかかる高速道路(インターステートハイウェイ)上の橋梁(鋼上路トラス橋)が供用中に突然崩壊し、多数の死傷者が出るに至る事故となった。

緊急対策橋梁数の推移

国の管理道路の橋梁は、5年に1度の定期点検を行っている。損傷のある橋梁に対しては毎年度修繕を行っているが、点検の結果、新たに修繕が必要な橋梁も見つかっており、緊急対策橋梁の解消が急務である。

【出展：国土交通省道路局】



※対象：国管理道路の15m以上の橋梁



鋼部材の腐食

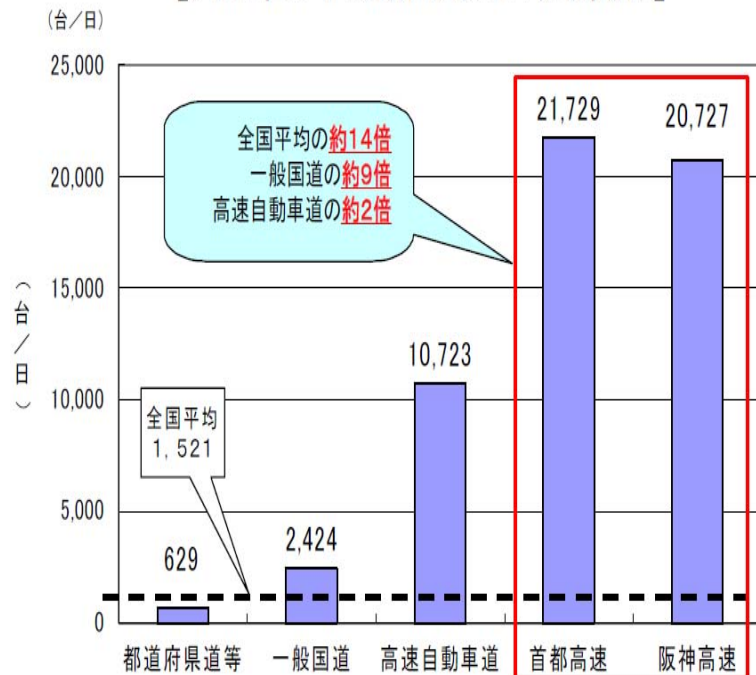


コンクリート部材の剥離・鉄筋露出

首都高速・阪神高速の経過年数

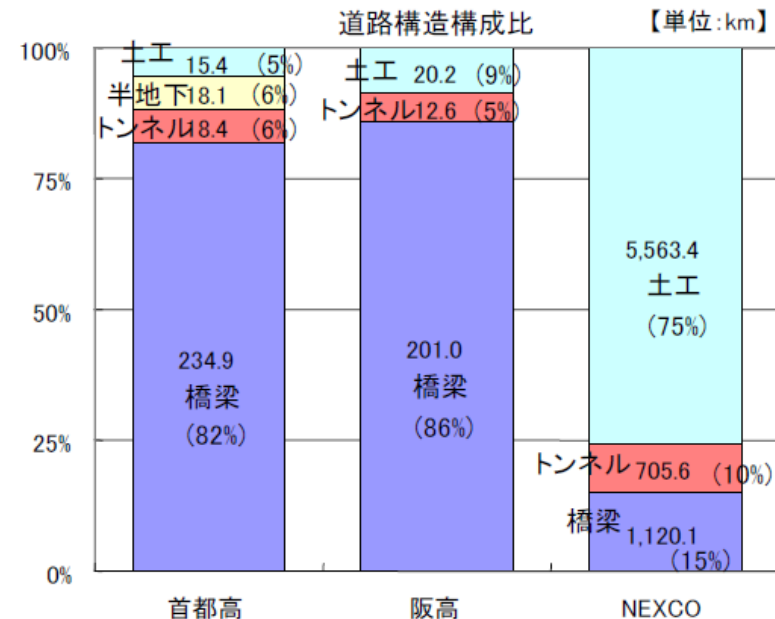
首都高速道路・阪神高速道路は、限られた都市空間の中で高速性を確保する必要があるため、他の道路に比べて橋梁の構造が占める割合が非常に高い。また、大型車の通行も非常に多く、構造物に大きな応力が発生している。このことから、今後より計画的な維持管理が必要となってくる。

【大型車の平均断面交通量(道路別)】



出典:平成11年度 道路交通センサス

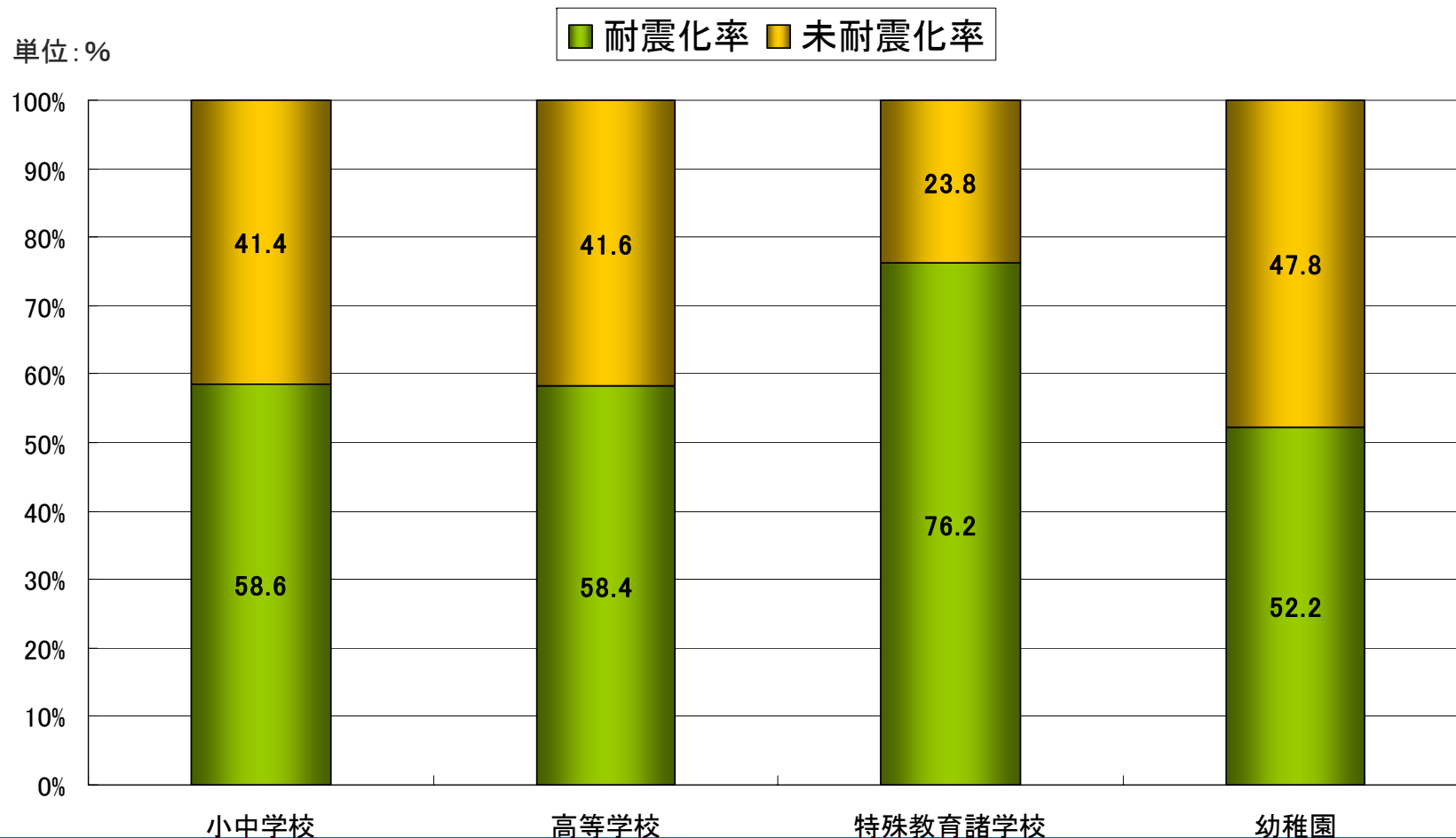
【道路構造別延長比率】



首都高速・阪神高速: H19.3時点
NEXCO: 高速道路便覧2006

学校耐震化へ法改正の見込み

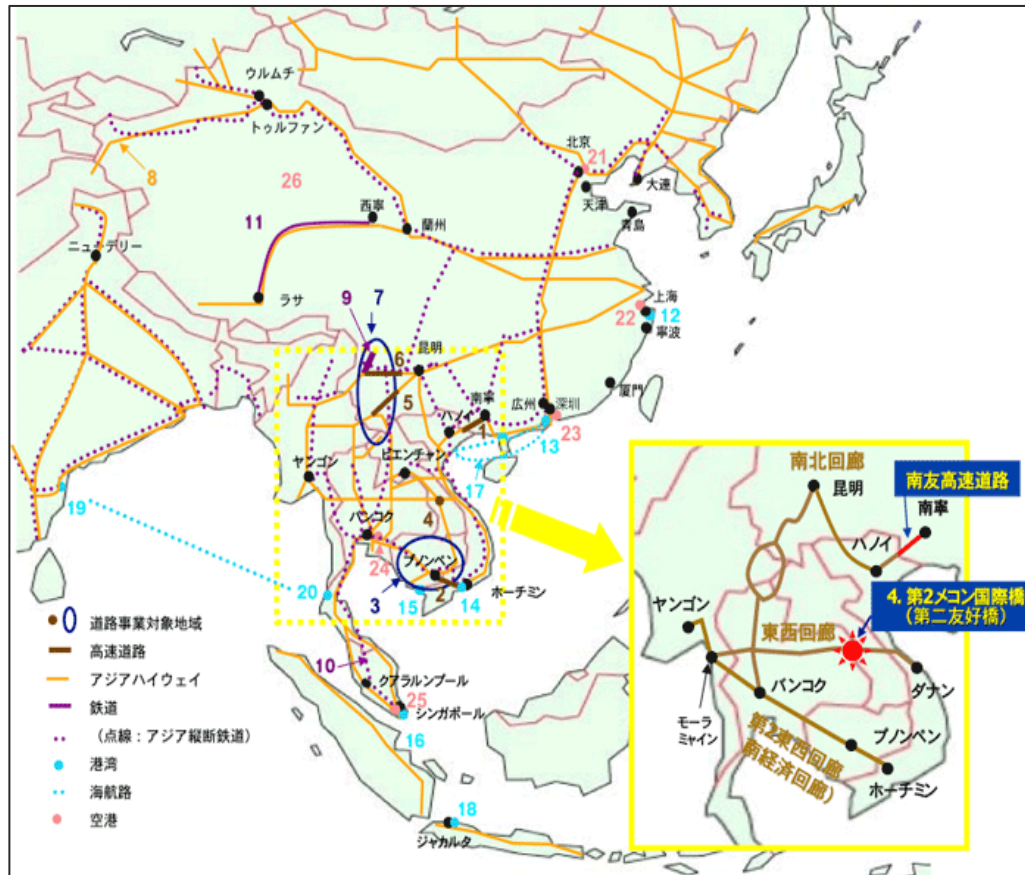
中国四川大地震を受け、各地方自治体の取り組む学校施設の耐震化の加速を目的に**国庫補助率の引き上げの法改正**を今期国会で目指す。



SECグループ
を取巻く環境

海外市場の状況(アジア)

アジア地域のインフラの開発



【東アジアに於けるインフラ整備状況】

AFTA（ASEAN自由貿易地域（ASEAN Free Trade Area）を初めとする中国、アジアへの経済集中に合わせ、物流インフラの整備が計画されている。

【出展：経済産業省：通商白書2007より】

- ◆ アジアハイウェイ構想
- ◆ プノンペン-ホーチミン高速道路整備
- ◆ カンボジア道路改善
- ◆ 第二メコン国際橋
- ◆ アジア縦断鉄道建設
- ◆ 広東-ハイフォン港コンテナ路線
- ◆ カイメップ/チーバイ国際空港開発

SECグループのビジネスチャンス

国内の状況

1. 温暖化による災害危険区域の増大
2. 戦後の高度経済成長時代に建設されたインフラ網の維持管理
3. 四川大震災を受け、小中学校の耐震補強の必要性が高まる



国内のビジネスチャンス

1. アンカー・KIT受圧板の市場拡大
2. 落橋防止装置市場の拡大及び、新技術・新工法の開発
3. パラレル構法市場の拡大及び、新技術・新工法の開発

海外の状況

1. アジアの経済発展に伴う急速なインフラ整備の必要性
2. 技術力の必要性

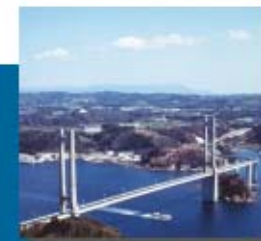


海外のビジネスチャンス

1. ソフト・ハードエンジニアリングの提供
(ベトナムV-JECとメコンデルタ開発を拠点とした、近隣諸国への事業展開)
2. フランスの先進技術の導入
(フランスグループとの共同事業化)



Globality Engineering Maker



(平成19年度 事業報告)

SECグループの事業トピック

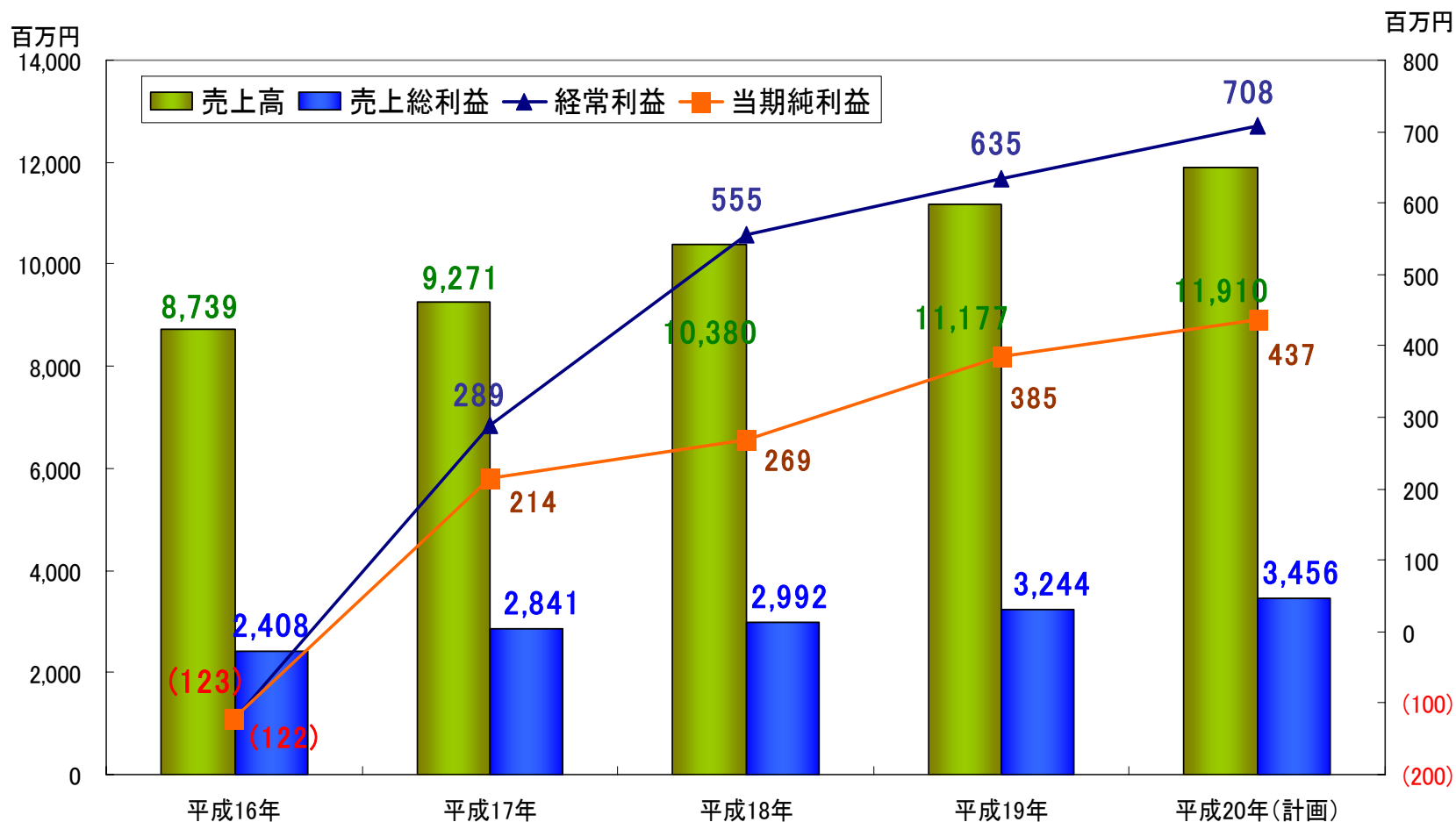
- ◆ 売上推移
- ◆ 大型斜張橋
- ◆ 落橋防止装置
- ◆ アンカー・KIT受圧板
- ◆ パラレル構法(建物の耐震性維持)
- ◆ バイオマス
- ◆ 海外戦略

H19年度
事業トピック

売上・利益の推移(平成16～20年度)

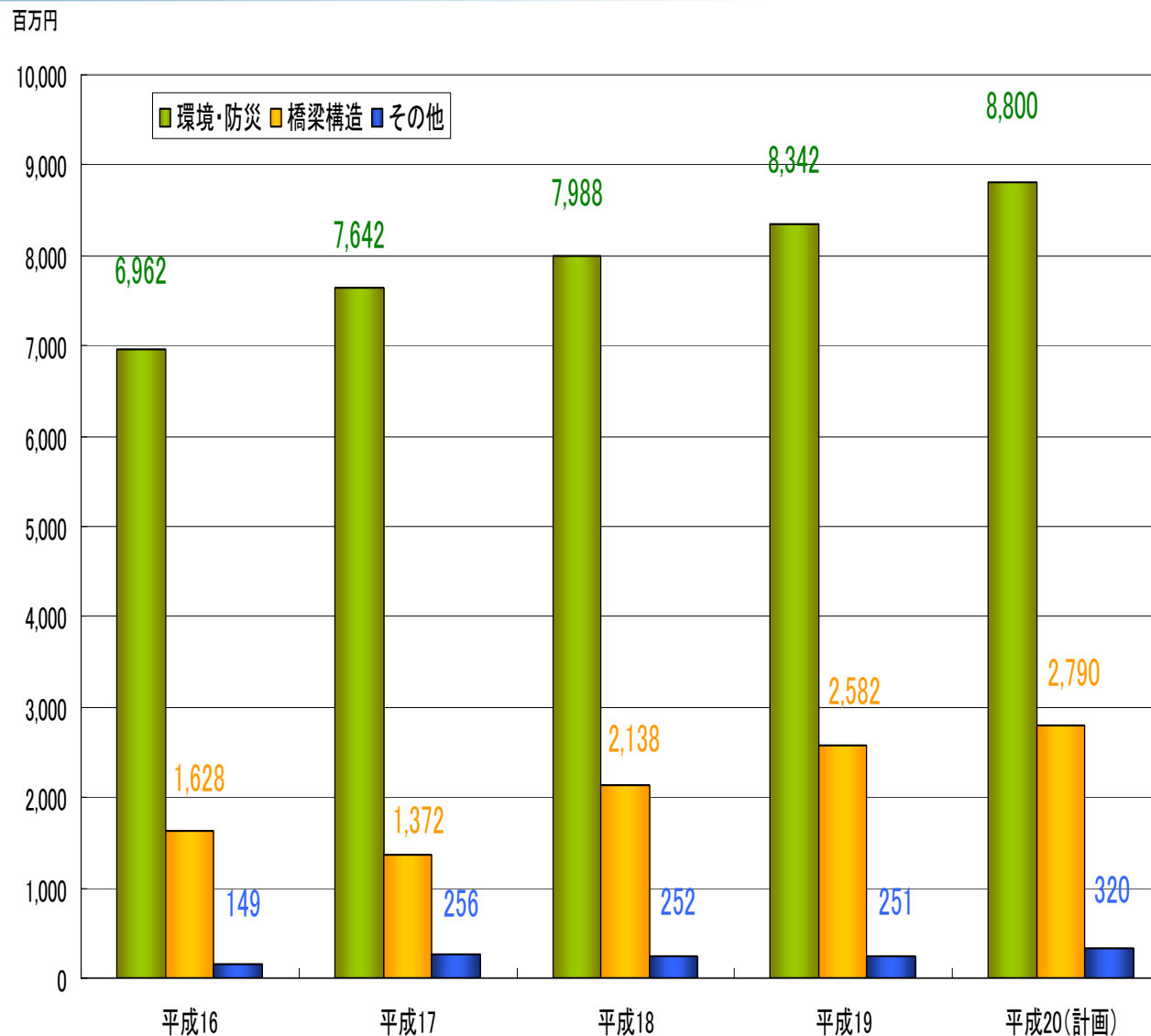
(売上高
売上総利益)

(経常利益
当期純利益)



H19年度
事業トピック

分野別売上高の推移(平成16～20年度)



H19年度
事業トピック

大型斜張橋案件 矢部川・鷹島・銚子報告

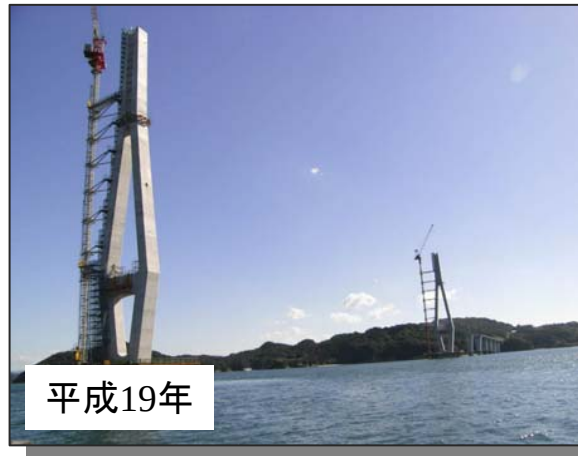
大型斜張橋案件が順調に進行: 今後の斜張橋予定物件(国内外)8件 計2,000百万円相当

● 矢部川橋(福岡県)



平成19年

● 鷹島肥前大橋(長崎県)



平成19年

● 銚子大橋(千葉県)



平成19年



平成20年6月現在



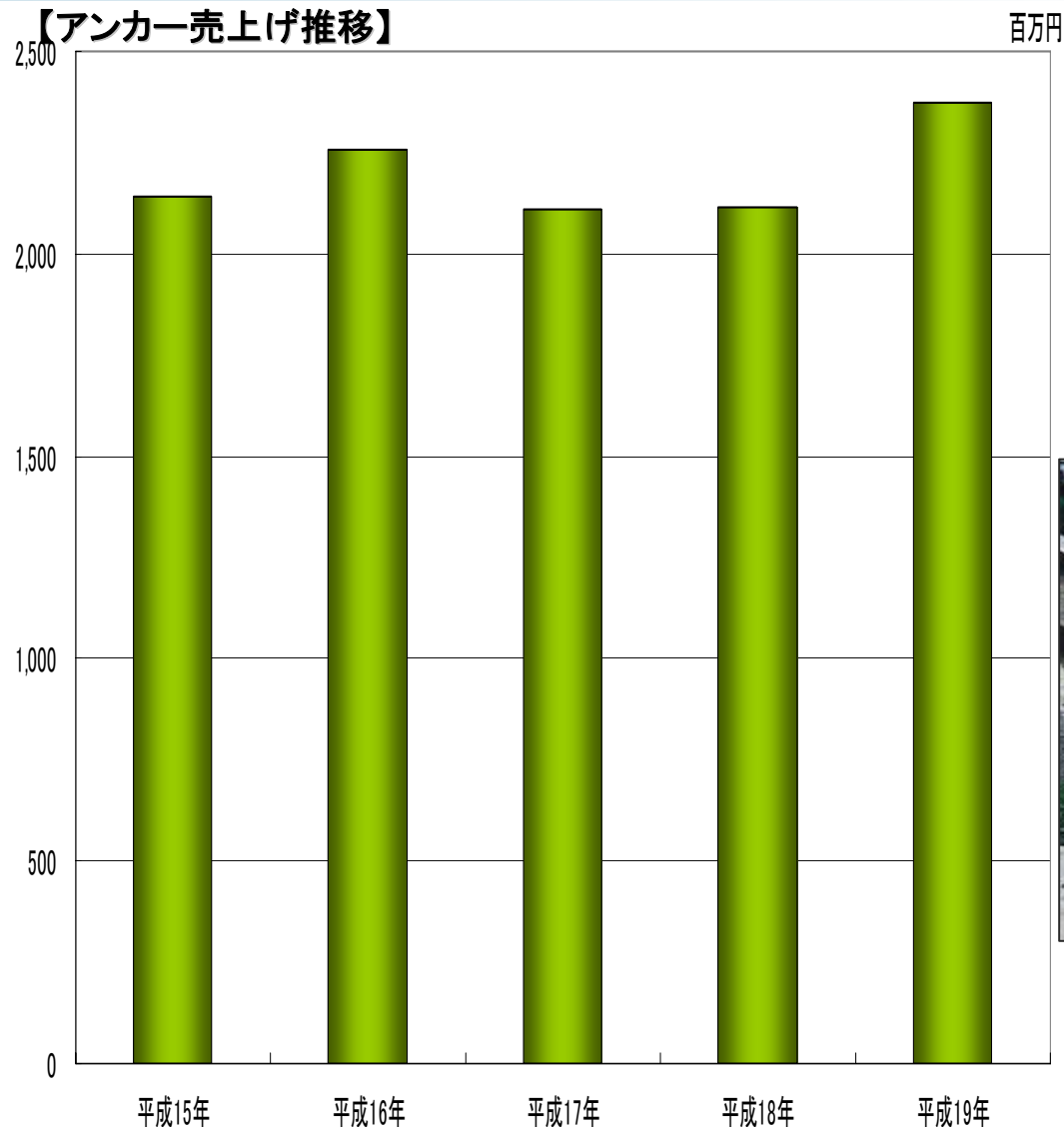
平成20年6月現在



平成20年6月現在

H19年度
事業トピック

アンカーの業績好調



全般的にアンカーの売上げは好調。
2007年度より取り扱いを開始したスー
パーフロテックアンカーの実績好調が
全体の牽引となった。

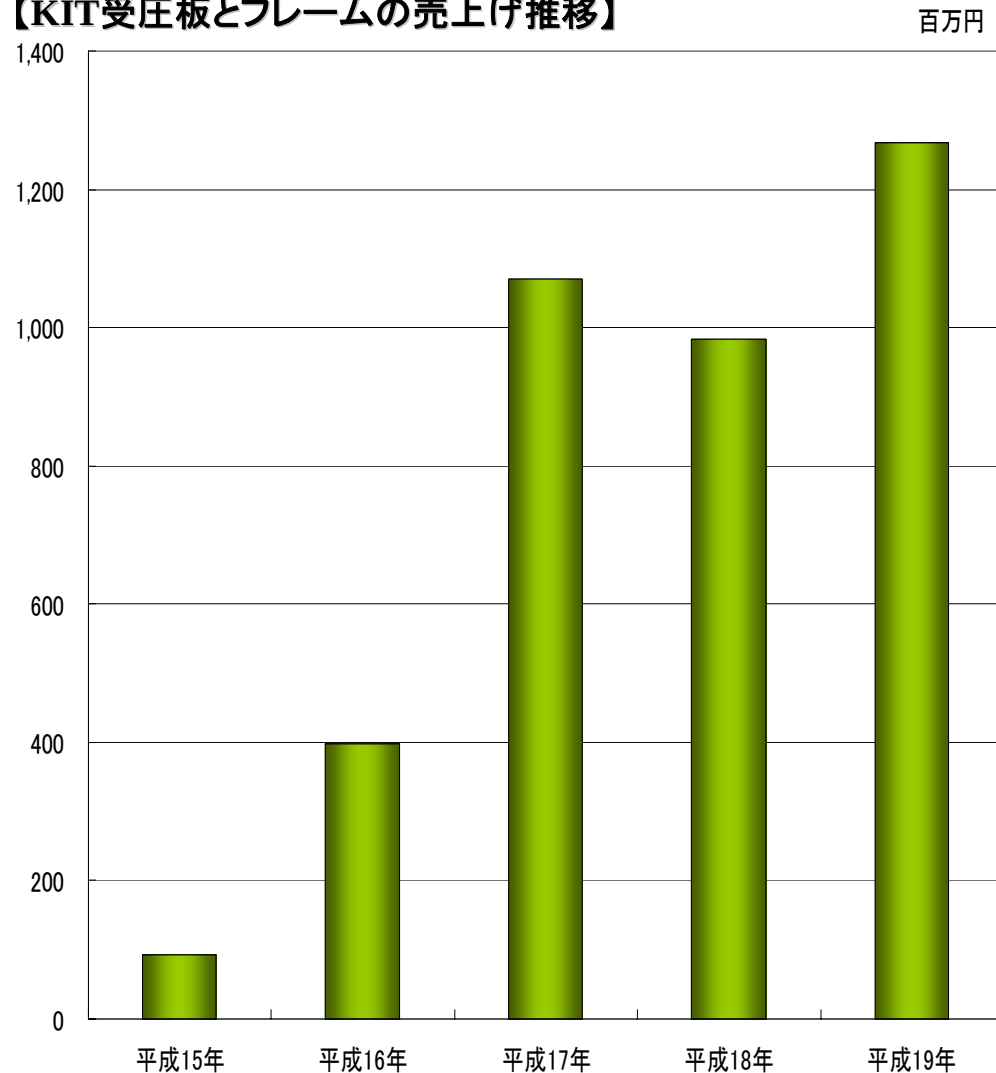


【スーパーフロテックアンカーの施工事例】

**H19年度
事業トピック**

KIT受圧板とフレームの業績も合わせて好調

【KIT受圧板とフレームの売上げ推移】



アンカー業績好調の相乗効果により、KIT受圧板の売上げも好調。累計出荷基数20,000基越え3年連続トップシェアを獲得



【施工直後】

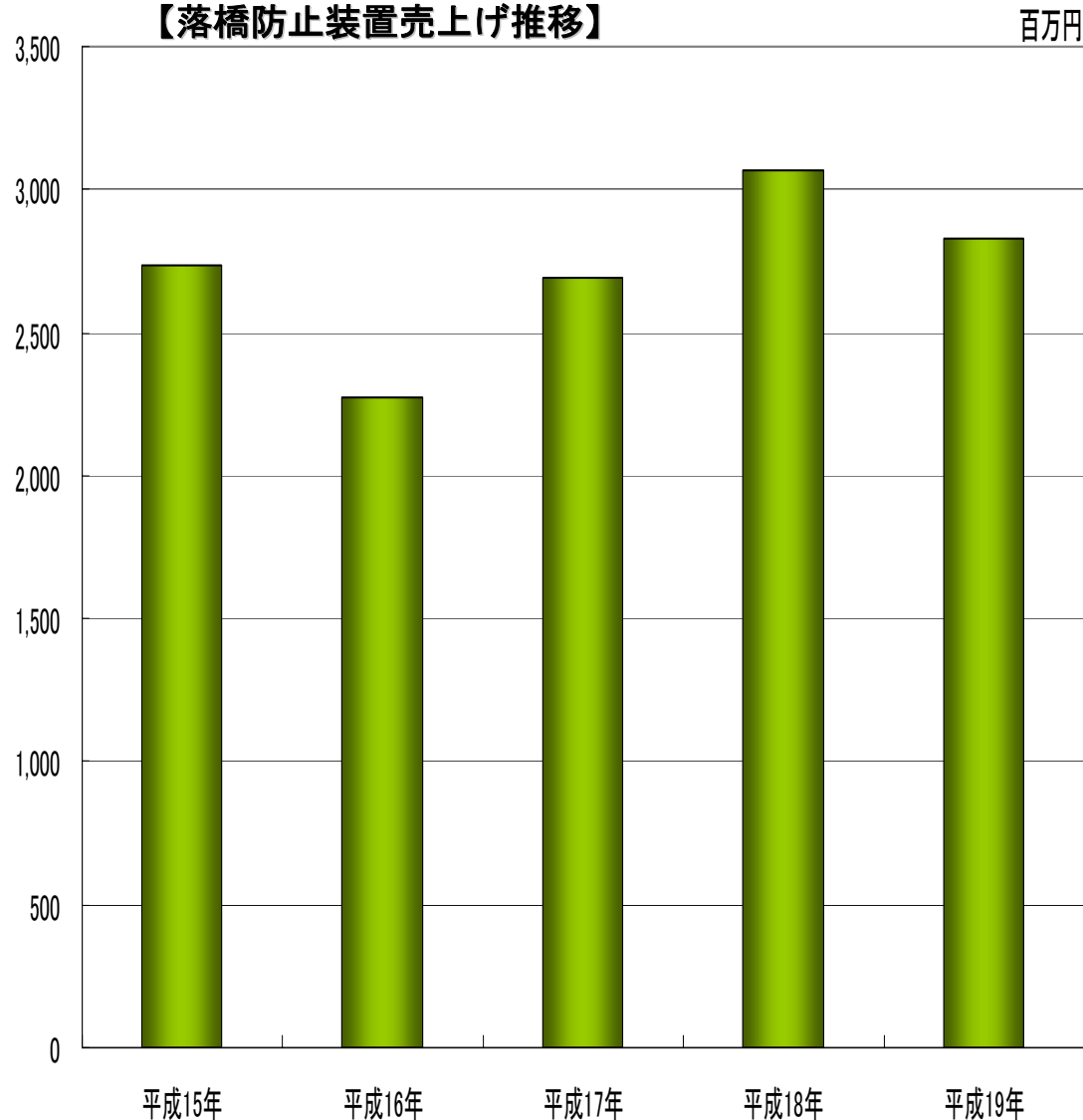


【施工後数ヶ月】

H19年度
事業トピック

落橋防止装置の実績

【落橋防止装置売上げ推移】



※当社落橋防止装置の占有率は、約60パーセント前後の導入率となっている。

(当社調べ)



建築物の耐震補強

- ## ● パラレル構法 平成19年度施工物件名

学校耐震化へ法改正

政府・与党検討 国庫補助引き上げ

日本の備えは

別措置立法を改正する検討に入った。中国・四川大地震の教訓から、耐震補強工事への国庫補助率を引き上げて地方自治体の負担を軽減し、財政に余裕が生まれれば、地震対策の強化を図ることを目指す。

町村信孝官房長官と渡海紀三朗文部科学相が同日、地震で倒壊の危険性が高い公立小中学校の校舎約一万棟を五年以内に耐震化する方針を決めた。ただ、費用の半分以上は自治体がかかる必要があり、財

政が厳しい市町村では取組みが遅れている。政府は昨年末、大規模地震で倒壊の危険性が高

り組む方向で一一致した。自民党の議員連盟も同じく、耐震補強工事への国庫補助率(現行二分の二)を引き上げるなどを盛り込んだ緊急決議をまとめた。

民主党など野党にも協議呼びかけ、早く国会での法改正を目指す。

政府は昨年末、大規模地震で倒壊の危険性が高

[illegible]

H19年度
事業トピック

食品廃棄物飼料化プラント(バイオマス事業)

バイオマス事業10億円化を目指して
平成12年6月に交付された「循環型社会形成推進基本法」を受け
「持続可能な社会」実現に向け貢献

【取り扱い機械一覧】

名称	SEC型真空乾燥装置	FED型真空乾燥装置	蒸気ジェット式乾燥機
運転方式	バッチ式	バッチ式	連続式
得意分野	液体、生ごみ、汚泥、おから	難乾燥性有機残渣	有機汚泥、無機汚泥、おから
苦手分野	澱粉質の高い原料、油分の高い原料	処理量の多いもの	液体、生ごみ、糖分の高い原料
写真			

H19年度
事業トピック

食品廃棄物飼料化プラント(バイオマス事業)

実績報告

◆ 実績報告:1

関東地区、大手コンビニエンスストアのベンダー企業食品残渣の減容目的として、導入

その後、麺専用処理機の導入引き合いがあり、飼料化目的として、導入済

◆ 実績報告:2

九州地区、飼料製造会社へ飼料製作の目的として、導入済み。



【導入事例:九州地区(実績報告:2)蒸気ジェット乾燥装置(USSドライヤー)】

営業状況報告

社名	処理対象	営業状況
A社	食品残渣	発注待ち
B社	海外向け小型乾燥機	発注待ち
C社	おから	顧客新工場竣工予定
D社	焼酎粕	発注待ち
E社	化学汚泥	提案済
F社	野菜くず	提案済
G社	醤油粕 おから	提案済
H社	おから	提案済
I社	飼料化プラント	提案済
J社	食品残渣	提案済

平成20年度売上予測:3億円(見込)

H19年度
事業トピック

海外市場への進出: 1 ベトナム

ベトナムHanoi University of Civil Engineeringと業務提携
合併会社V-JECを設立し、ベトナム及び、東アジアのプロジェクト推進

■ 基本戦略

- 政府レベルと川上で交渉し、ODAプロジェクトを獲得
- Hanoi University of Civil Engineeringと提携し、プロジェクトの早期仕込みに努める
- ソフト(設計エンジニアリング)とハード(製品の製造販売)の両面から市場を攻略

■ 対象プロジェクト

- ベトナム国内橋梁案件のメインデザイン
- 橋梁のデザインチェッカー
- ハノイ～ホーチミンの高速道路・新都市開発計画
- 都市交通計画
- V-JEC、HUCEと共同で建築物のデザイン設計
- 耐震建築物



【ベトナムにおけるV-JECシンポジウムの様子】

H19年度
事業トピック

海外市場への進出:2 韓国 I

韓国の橋梁、斜材、環境防災市場へソフト・ハードの両面より、積極的展開(K-SEC、TISとの共業)を推進する。

※K-SEC、TIS-----共に当社と韓国との合併会社

■ 基本戦略

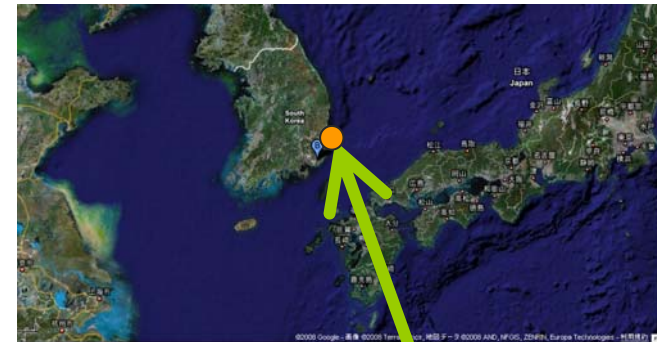
K-SEC	アンカーを中心に韓国市場において、事業を展開中。 高成長企業。韓国市場におけるハード面を担う
TIS	韓国において、斜材事業を中心に展開中。 韓国市場におけるソフト面を担う

K-SEC社/TIS社を通じ、韓国の橋梁、斜材市場への参入して行く事で、このプロジェクトを足がかりとした、東アジアへ積極的な展開へと市場の拡大をはかる。

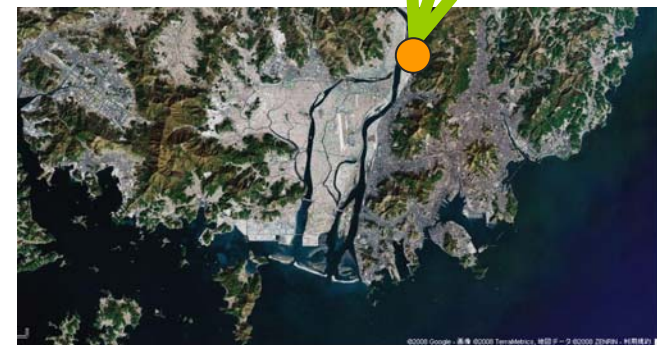
H19年度
事業トピック

海外市場への進出: 2 韓国 II

韓国釜山: 華明大橋案件
当社と韓国兌和 (TAI WHA) 及び、フランスアンジェロップ社との合弁会社であるTISと、当社との共業プロジェクトとして推進



釜山: 華明



※画像はイメージ図



Globality Engineering Maker

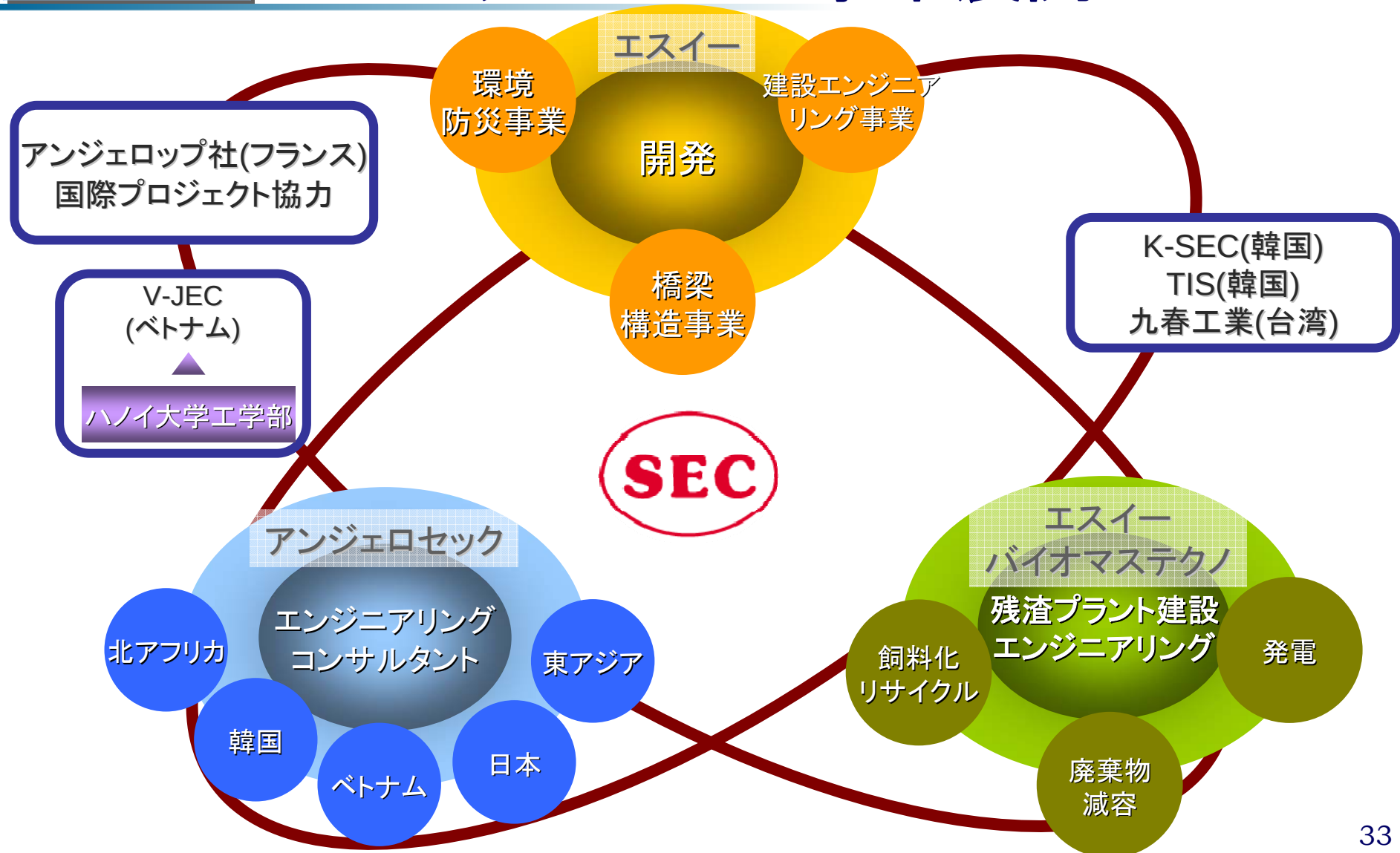


SECグループの今後の戦略

- ◆ SECグループの事業展開
- ◆ SECグループの企業像と位置づけ
- ◆ SECグループの中期売上計画

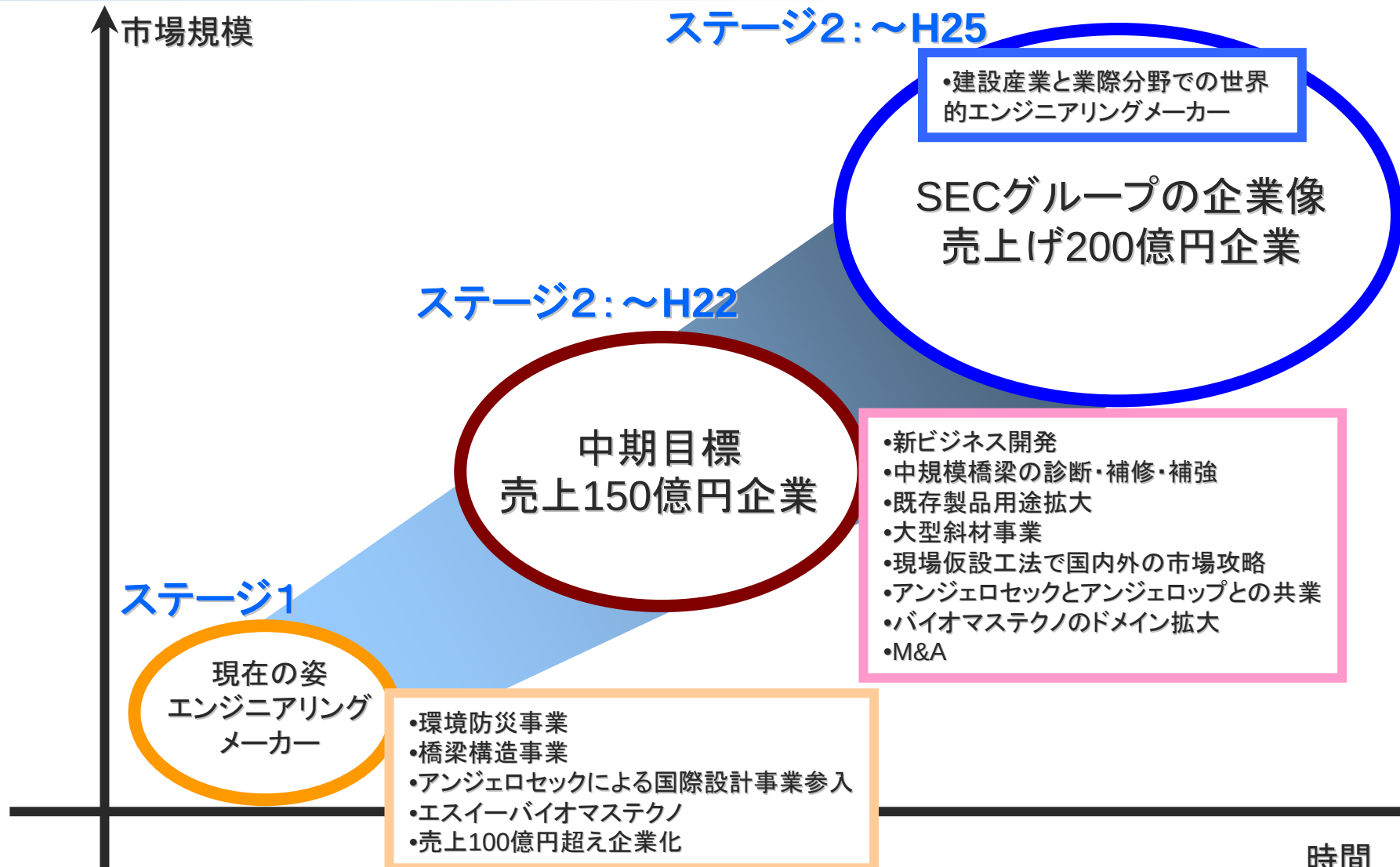
SECグループ
成長を支える施策

SECグループの事業展開



SECグループ
成長を支える施策

SECグループの企業像と位置づけ

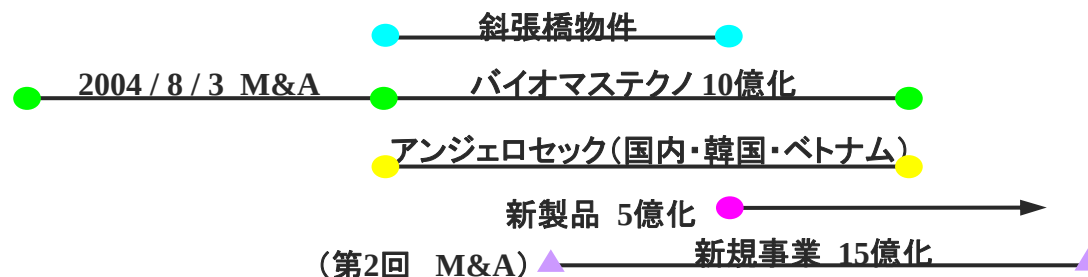
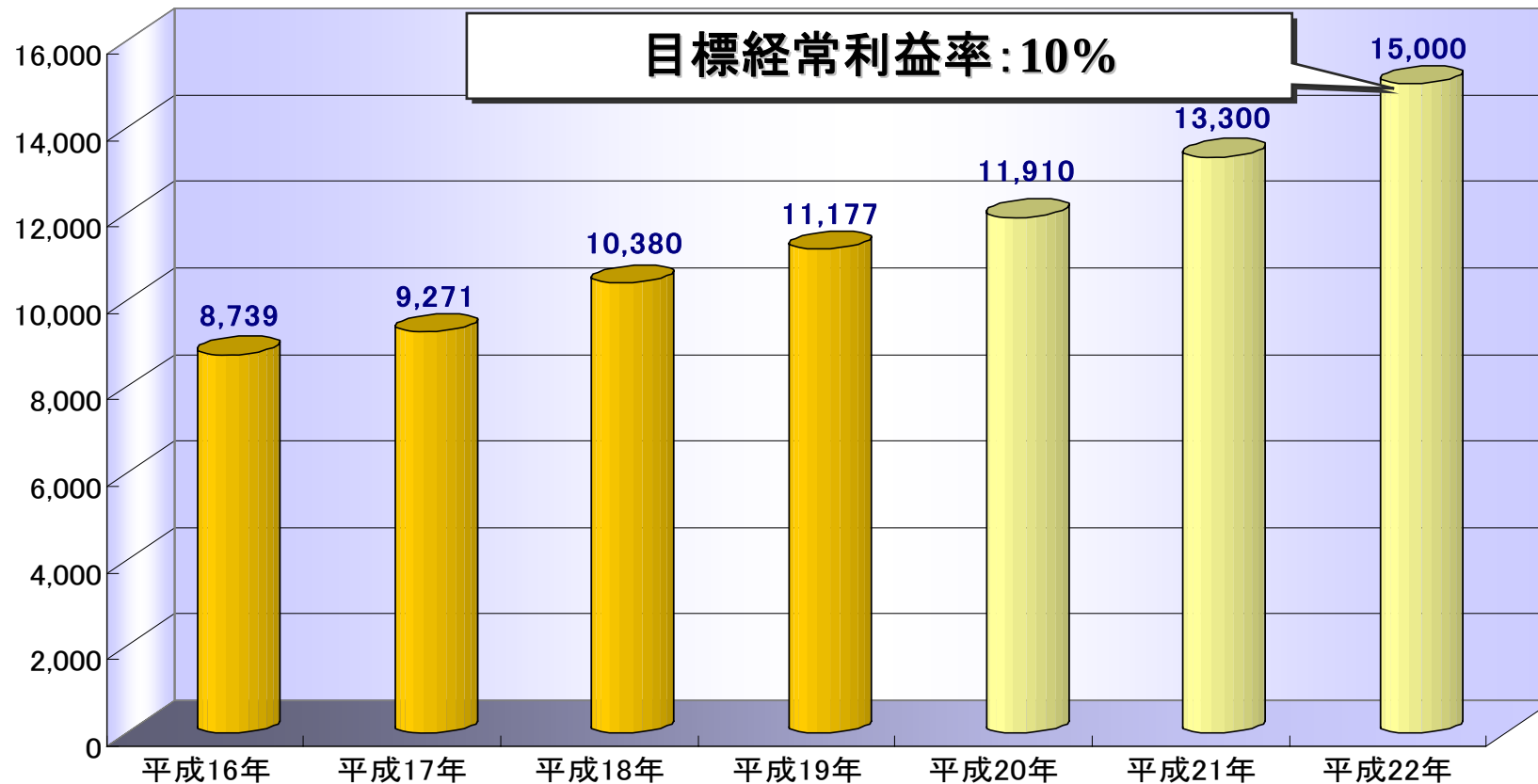


時間

34

SECグループの中期売上計画

(単位: 百万円)



将来見通しに関する記述についての詳細

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

Globality Engineering Maker

 株式会社 エスイー